活動計画概要

研修部会

平成26年1月16日

全体目標

がんにより死亡する人の減少
がんの年齢調整死亡率（75歳未満、人口10万人当たり）を平成29年度までに20%減少させる。

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

部会が担当する分野の課題と目標

【目標】
あるべき姿　**質の高いチーム医療が医療を提供している**

①各職種ごとに、がん医療に携わる人材（スペシャリスト）がいる。
②各職種ごとに、スペシャリストを中心に高いレベルの研修が実施できている。
③各職種ごとに、年間の研修受講数が確実に増加している。

中期目標：指標　：年間の各職種ごと、医療機関ごとの研修受講者数
測定方法：　研修会名簿のモニター

長期目標：指標　：「知っておくべきがん医療の知識」を持った医療職がが医療を提供している
測定方法：　未定

施策毎のアウトカム目標

【アウトカム目標1】 継続的に、質の高い研修が行われている

【アウトカム目標2】

施策毎のアウトプット目標

- 毎年、各拠点病院にて開催する（年3回開催する）
- 毎年、各拠点病院にて開催する（放射線療法3回、放射線療法3回）
- 年1回開催する。
- 各拠点病院にて年1回開催する
- 各拠点病院にて年1回開催する。
- （1）緩和薬物療法認定薬剤師制度活用、緩和医療学会での単位取得を視野に入れた薬剤師向けの研修会を企画し実施する。（2）がん専門薬剤師制度（病院薬剤師向け）の活用、沖縄県独自のがん研修修了薬剤師制度を策定する。
- これまでの部会活動についてポスターを作成し、県内の」薬剤師会、細胞学会、看護研究学会などでポスター展示を行う。又、県医師会総会でポスターセッションで報告する。
- 各医療機関に調査を実施し、疾患別、病院別でまとめ、協議会HPへ公開する
- 各拠点病院主催の研修会の日時、内容を作成し協議会HPへ公開する。

施策アクションプラン

- 【施策1】医師向けに早期診断のための研修会を開催する
- 【施策2】医師向けに放射線及び化学療法の副作用対策も含む研修会を開催する。
- 【施策3】看護師対象に研修会を開催する
- 【施策4】放射線技師対策を対象とした研修会を開催する
- 【施策5】検査技師を対象とした研修会を開催する。
- 【施策6】認定薬剤師制度の活用、薬剤師向けの研修会実施
- 【施策7】協議会活動の報告
- 【施策8】研修会の人材バンク（講演者リスト）の作成
- 【施策9】拠点病院主催の研修会スケジュールの作成

ワークシート1で導き出された対策項目

【対策項目1】
職種別医療者育成

【対策項目２】
運営資源の充実化